

【活動報告書】

和歌山まちなかシルクロード構想実行委員会

(和歌山市中心市街地の活性化を目指し結集したステイクホルダーによる任意団体)

～市民目線のウォークブル×スマート×SDGsシティ化推進を目指して～

2022年8月

まちしる

和歌山まちなかシルクロード

組織概要

組織名称 : 和歌山まちなかシルクロード構想 実行委員会(2020年6月10日発足)

<参加団体・企業 ※50音順>

①商店街

アロチ商店街、北ぶらくり丁商店街協同組合、市駅前中央商栄会、JR和歌山駅前商店街、城北まちづくりの会、みその商店街協同組合、東ぶらくり丁商店街、本町商店街、

②企業・学校

株式会社KEGキャリア・アカデミー、株式会社信濃路、和歌山コンピュータビジネス専門学校、和歌山大学、和島興産株式会社

会 長 : 梅田 千景(和島興産株式会社 代表取締役)

副 会 長 : 西平 都紀子(株式会社信濃路 代表取締役)

実行委員長 : 野口 千恵(株式会社紀泉ふるさと創研)

スポンサー: 足立 基浩(和歌山大学 副学長/経済学部教授)

<実行委員 ※50音順/敬称略>

縣 克伸(アロチ商店街 理事長)

石垣 泰伸(みその商店街協同組合 理事長))

加藤 正祐(JR和歌山駅前商店街 理事長)

木村 隆子(アロチ商店街 副理事長))

桑島 秀樹(北ぶらくり丁商店街協同組合 理事長)

垂井 一(市駅前中央商栄会 会長)

西廣 真治(アロチ商店街 専務理事)

日高 亜季(和歌山コンピュータビジネス専門学校 副校長)

古田 高士(株式会社和み 代表取締役)

<事務局>

株式会社紀泉ふるさと創研

<協力企業・店舗 ※50音順>

株式会社アシテック・オコ

株式会社JTB

株式会社積水ハウス阪和支店

株式会社 フーズファイル

ぶらくり丁カレーBiBo

株式会社メガチューブ

株式会社和歌山リビング新聞社

和島興産株式会社

活動の趣旨

- JR和歌山駅から南海和歌山市駅までの各拠点の「人・モノ・コト」をつなげてひとつの文化圏をつくり、片道徒歩40分の距離を「歩きたくなるストリート」にすること、JR和歌山駅圏と南海和歌山市駅圏の関係を「分断」から「連動」に変えることを目的とします。
- また、人口が多い大阪市や堺市の市民、コロナ後のインバウンド観光客が来たくなるような街づくりを推進します。
- 「すべての商店街が活性化すれば和歌山市は若者が住みたい街になる」という基本理念で本プロジェクトを推進します。
- 和歌山まちなかシルクロード構想は、国連において全会一致で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)を推進するものです。
「目標 11:住み続けられるまちづくりを」はもちろん、「目標 4: 質の高い教育をみんなに」「目標 17:パートナーシップで目標を達成しよう」にも貢献するよう取り組みます。

まちしる

和歌山まちなかシルクロード

活動報告① 実行委員会 第1回会議

日時 :2021年6月10日(木) 10:30~12:00

場所 :パルファンビル地下オープンスペース

参加者:計 19 名/50 音順/敬称略

【商店街】

アロチ商店街理事長 縣克伸、副理事長 木村隆子、専務理事 西廣真治

北ぶらくり丁商店街協同組合理事長 桑島秀樹

市駅前中央商栄会会長 垂井一

みその商店街協同組合理事長 石垣泰伸

【まちづくり会社】

株式会社紀州まちづくり舎代表取締役 吉川誠人、株式会社sasquatch代表取締役 小川貴央

一般財団法人和歌山まちづくり財団評議員 島英雄 ,株式会社ワカヤマヤモリ舎代表取締役 宮原崇

【学校】

和歌山コンピュータビジネス専門学校校長代理 日高亜季、進路指導部 谷本翔太

和歌山大学 副学長/経済学部教授 足立基浩

【福祉】

介護センターピース&ピース 西原隼登、池田のりひこ

【行政】

和歌山県循環型社会推進課主査 恩賀承子、和歌山県商店街振興連合会事務局長 楠林正至

和歌山市都市再生課 中村英人

【オブザーバー】 小川達也(株お元気さん) 小笠原浩一(落語家)

【事務局】 野口千恵(株式会社紀泉ふるさと創研)



活動報告② 和歌山七夕大作戦

2020年7月7日実施。

- 和歌山七夕大作戦(シルクロード構想実行委員会、観光地 和歌浦地区、加太地区を中心に賛同者47名が清掃活動を実施。
- 終了後には七夕らしい風情を演出しようと笹の飾りつけて道行く人の目を楽しませながら、活動をアピールしました。

コロナ終息願ひ短冊にアロチで七夕の飾り付け

7月7日の七夕は、新型コロナウイルスの足が速の「アロチ」と和歌山ウィルズ終息願ひ短冊を掲げ、市街の飲食街「アロチ」の七夕飾りつけを行いました。アロチの七夕飾りつけは、市街の飲食街「アロチ」の七夕飾りつけを行いました。

七夕飾りつけのメンバー



7月7日の七夕は、新型コロナウイルスの足が速の「アロチ」と和歌山ウィルズ終息願ひ短冊を掲げ、市街の飲食街「アロチ」の七夕飾りつけを行いました。アロチの七夕飾りつけは、市街の飲食街「アロチ」の七夕飾りつけを行いました。

10人が事故防止誓う

和歌山市大 2 番目に歴史を誇る和歌山新交通の年団がある。団員とは6年生の小学生から、大新交通ルルヤナー、小中学校入団、団員記念卒業式まで、10人が事故防止誓う。



和歌山市大 2 番目に歴史を誇る和歌山新交通の年団がある。団員とは6年生の小学生から、大新交通ルルヤナー、小中学校入団、団員記念卒業式まで、10人が事故防止誓う。

お誕生日の子ども写真募集

対象は1歳～小学校の誕生日を迎える子ども。以下の条件を満たす場合は、お誕生日の写真(縦向き)を一枚お送りください。写真の背景は白または淡い色で、お誕生日の日付がわかるようにしてください。

お誕生日の日付がわかるようにしてください。

短冊に込めた願い天へ

各地で七夕飾りおたき上げ

和歌山県内各地で七夕飾りおたき上げが行われ、願いが天まで届くと信じている。和歌山県内各地で七夕飾りおたき上げが行われ、願いが天まで届くと信じている。

写真展 大阪府探訪

31日まで ケーキサロン・M

和歌山県内各地で七夕飾りおたき上げが行われ、願いが天まで届くと信じている。

生活様式に合致

加太式たばこが注目

和歌山県内各地で七夕飾りおたき上げが行われ、願いが天まで届くと信じている。

星に願いを託して

加太春日神社に七夕飾り

和歌山県内各地で七夕飾りおたき上げが行われ、願いが天まで届くと信じている。

子ども写真募集

お誕生日の日付がわかるようにしてください。

活動報告③ 日本初SDGSロード宣言と一斉清掃&打ち水



まちづくりへ意気込む実行委メンバー

和歌山
南海和歌山市駅からJR和歌山駅までを、魅力ある通りにしようと「和歌山まちなかシルクロード構想実行委員会」が発足。エリア内の商店街や飲食店関係者が手を取り合い、「歩きたくなる」まちづくりを目指す。関連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）をテーマにしたイベントや活動を予定しており、8日には北ぶらくり丁、アロチ、みその商店街で同時刻に清掃活動と打ち水を展開。「まちなかSDGsロード宣言」を行った。

「歩いて楽しい」通りに 商店街結ぶ まちなかSDGsロード宣言

実行委は商店街の店主や経営者、大学教授ら約50人で構成。南海和歌山市駅からJR和歌山駅まで徒歩で40分の範囲であることに着目し、人やモノ、コトを結び付け、個別に取り組むのではなく手を携えたまちづくりを進めること、

相乗効果や人流の前盛り上げを期待している。今後は地元で活躍する若手からアイデアを生み出し、活性化につなげたいという思いが強い。この日、北ぶらくり丁で行われたSDGs宣言では、実行委のメンバーで、和歌山大学の副学長、市を、歩いて楽しい足立基徳さんが「ウォーカーフレンドリーな商店街が、まちづくりの鍵」と語り、若い学生たちを巻き込んで、「わかやまごみゼロ活動」に



高校生記者が取材した和歌山市の魅力を紹介

定され、認定証も交した。付された。この地、実行委委員長の野口秋には大学生や専門士、千恵さんは「自分たち高校生を対象に、商店街のまちを自分たちで再生させたい」という思いを込めて、この日、まちづくりのシンポジウムを開催し、会場でも若い世代とつながる機会があった。6日までの予定で、この日、SDGs達成の目標を掲げた「1」期間である2030年の国が「わかやま」をテーマに、次の世代に引き継ぐべきことを伝える。記者が取材した和歌山市内を伝えている。

2021年8月8日、商店街で午後2時から一斉清掃活動と打ち水を行いました。清掃活動は、県民や事業者の自主的な清掃活動を応援するという県の「わかやま『ごみゼロ活動』」の認定も受けており、当日の清掃活動には県の循環型社会推進課も参加してくれました。

打ち水の後、「和歌山まちなかシルクロード構想」に賛同する商店街や企業が北ぶらくり丁商店街に集結し、和歌山市を「健康的でウォーカブルな(居心地がよく歩きたくなる)まち」とすべく「和歌山まちなかSDGsロード宣言」を行いました。

アロチ活性化委など 県ゴミゼロ活動で3団体認定

県は、自主的な清掃活動を「わかやまごみゼロ活動」と認定する取り組みについて、県内3団体を第1号に認定したと発表した。

同制度の目的は、県民や県内事業者の自主的な清掃活動の取り組みを促進すること。県は認定者の活動内容を県のホームページなどで紹介する。認定した団体は笑好会、アロチ活性化委員会、和歌山アースデイ実行委員会。

笑好会は老人クラブで、和歌山市の川永や紀伊などの地区で月1回、マイクロプラスチックなどのごみ拾いを行っている。アロチ活性化委員会は同市内の飲食店を中心に構成されており、毎月第1月曜日に同地区の清掃活動を行い環境美化活動に努めている。和歌山アースデイ実行委員会は米市農園(紀の川市)が運営するボランティア

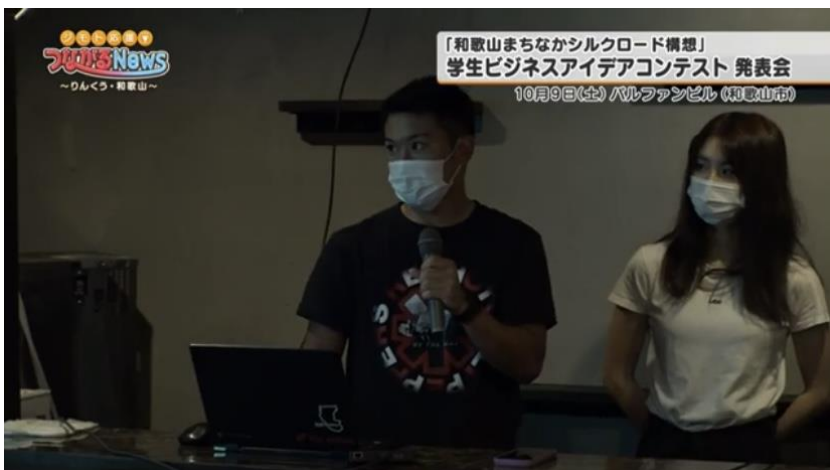
認定された「アロチ活性化委員会」

活動報告④ 和歌山まちなか学生ビジネスプランコンテスト開催

10月9日(土) 14:00～ パルファンビル地下オープンスペース

7校が最終選考に参加

審査員:30名(各自持ち点25点×30名=合計750点)



J:COM「つながるNEWS」から転載

○募集要項

SDDGsの達成目標である2030年に次世代へのバトンタッチができるよう「自分の街の未来は自分たちの手で創る」をテーマに学生のビジネスアイデアを募集。

○目的・趣旨

和歌山市中心部では高齢化・人口減少が進行し、さらに新型コロナウイルスの影響もあって空き店舗が増えています。市の中心部の空洞化は市全体の財政やインフラ維持など未来に悪影響を与えてしまいます。そこで、これからの和歌山市を担う学生の皆さんからの「アイデア」や「活動」の提案を募集しました。SDDGsの達成目標である2030年に次世代へのバトンタッチができるよう、「自分の街の未来は自分たちの手で創る」をテーマに募集したところ27チームがエントリーし、7校が最終選考に残り最終審査しました。最終審査の結果は以下の通りです。

第1位グランプリ

(同点で1位が2チームとなりました)

・和歌山大学Cチーム 539点

- ①歩きたくなるまちづくりに貢献するか 108点
- ②地域貢献性 111点
- ③独創性 85点
- ④実現性 98点
- ⑤熱意 137点

・和歌山コンピュータービジネス専門学校 539点

- ①歩きたくなるまちづくりに貢献するか 83点
- ②地域貢献性 135点
- ③独創性 141点
- ④実現性 97点
- ⑤熱意 83点

下記のチームは金賞

慶風高校、和歌山大学Aチーム、
和歌山大学Bチーム、楠見小学校

評価基準

- ①歩きたくなるまちづくりに貢献するか 5点
 - ・和歌山市中心市街地の一体性を促進するか
 - ・空き家や空き店舗の解消に貢献するか
- ②地域貢献性 5点
 - ・地域の経済利益、雇用、資源の有効活用を促すアイデアとなっているか
 - ・地域の様々なプレイヤーと有効な連携を図ろうとしているか
- ③独創性 5点
 - ・これまでにない新しい取り組みであるか
 - ・ニュース性の高い取り組みであるか
- ④実現性 5点
 - ・事業計画が現実的な想定のもと組まれており、実現性が高いか
 - ・事業の展開に合わせて取組むべきことが明確になっているか
- ⑤熱意 5点
 - ・事業主体に、事業をやり遂げる強い決意が備わっているか

活動報告⑤ 和歌山まちなか学生ビジネスプランコンテスト表彰式

2021年11月24日 和歌山城ホール1階展示室にて実施

「青潮書道会特別展～紀州を彩った先人達」のコラボレーション企画として、和歌山まちなかシルクロード構想実行委員会主催「学生ビジネスアイデアコンテスト」の表彰式を開催。

青潮書道会様は、和歌山が生んだ偉人たちの言葉を学ぶ場を提供し、そして和歌山の学生たちが和歌山に誇りを持って欲しいという願いをもって、「特別展～紀州を彩った先人達」を企画。そこへタイミングよく、和歌山市学生を対象に、和歌山市の未来を創るビジネスアイデアコンテストがあることを知り、この特別展こそ表彰式を行う場にふさわしいのではないかと考えてくださり、このコラボに至りました。



青潮書道会特別展 テープカット



受賞した各チームの代表者が市長および委員長と記念撮影

今回のビジネスアイデアコンテストには、大学生、専門学校生、高校生が貴重な時間を使って調査・企画会議を重ねてアイデアを練ってくれた力作が集まりました。表彰式ではそれぞれの提案書も展示し、企画内容を象徴する一文字を書家の松村博峰先生がその場で賞状に揮毫してくださいました。

また、和歌山市の未来をになう小学生の皆さんに「私たちが住みたいまち」をテーマにした絵を募集したところ、和歌山市立楠見小学校の生徒の皆さんから、楽しくてカラフルなまちの絵がたくさん届きました。



委員会を代表して梅田千景委員(和島興産株式会社 代表取締役)が挨拶



書家の松村博峰先生がその場で賞状に揮毫

受賞各チーム

1. グランプリ 和歌山コンピュータビジネス専門学校
プレゼンター 市駅前商店街 垂井一理事長
2. グランプリ 和歌山大学Cチーム
プレゼンター JR駅前商店街 加藤正祐理事長
3. 金賞 私立慶風高等学校
プレゼンター みその商店街協同組合 石垣泰伸理事長
4. 金賞 和歌山大学Aチーム
プレゼンター アロチ商店街 縣克伸理事長
5. 金賞 和歌山大学Bチーム
プレゼンター 北ぶらくり丁商店街振興組合 桑島英樹理事長
6. 金賞 和歌山市立楠見小学校
プレゼンター アロチ商店街 西廣真治専務理事

活動報告⑥ スマートシティ推進プラットフォーム「まちなか商店街DX」第1回勉強会

【第1回勉強会の概要】

○開催日時：令和4年3月9日(火)10:00～12:00

○会場：わかちか広場(JR和歌山駅西口ロータリー地下街)

○参加費：無料

○プログラム：

1. 和歌山市スマートシティプラットフォームの概要説明

和歌山市企画政策部企画政策課 川岸氏

2. スマートシティとは何か？

事務局 榎本孝(株式会社紀泉ふるさと創研 総合プロデューサー)

3. 他都市事例紹介

NTT西日本和歌山支店ビジネス営業部ビジネス推進担当 隅坂氏

4. 身近なDX

城善建設株式会社 和田正典氏

※城善建設は2021年クラウド実践大賞全国大会で総務大臣賞受賞

【経緯】

和歌山市企画政策課は、「公共及び市内事業者における先端技術の導入(DX推進)を図ることで、和歌山市全体のスマート化を目指す」ことを目的に和歌山市スマートシティ推進プラットフォームを組織しました。2021年11月にはオンライン説明会が開かれ、大手通信事業者や県内IT関連企業等とともに当委員会も説明会に参加しました。

そこで、当委員会が幹事となって「まちなか商店街DX分科会」を設置することを市に提案し、採択されました。この分科会には和歌山市からの参加企業募集に応じて、西日本電信電話株式会社様、ソフトバンク株式会社様、株式会社Link-U様、株式会社グラフィックス様、株式会社紀陽銀行様も参加されることとなりました。



【参加者 36名＋市民10名】

①商店街(50音順)10名

和歌山県商店街振興組合連合会 楠林氏

アロチ商店街：副会長 木村氏、専務理事 西廣氏

北ぶらくり丁商店街協同組合：理事長 桑島氏、小川氏

市駅前中央商栄会：会長 垂井氏＋2名

JR和歌山駅前商店街：理事長 加藤氏

みその商店街協同組合：理事 廣井氏

②企業 7名

株式会社KEGキャリア・アカデミー：取締役 瀬川氏

株式会社信濃路：1名

株式会社メガチューブ 代表取締役 島氏

NPOわかやま環境ネットワーク理事 樫村氏

株式会社和歌山リビング新聞社 佐々木氏

和島興産株式会社 代表取締役 梅田氏

城善建設株式会社 和田氏

③学校 3名

和歌山コンピュータビジネス専門学校：谷本氏＋1名

信愛大学 相談役 大江氏

④メディア 2名

テレビ和歌山 報道部 中田氏

J:COM 制作部 1名

⑤分科会メンバー 6名

NTT西日本 地濃課長・隅坂主査、株式会社紀陽銀行 岡田氏、株式会社グラフィックス 大谷氏、株式会社ソフトバンク 仲野氏、Link-U 早川氏

⑥和歌山市 3名

企画政策課 川岸氏

都市再生課 中野班長、中村氏

⑦白浜町 3名

一般社団法人熊野南紀連盟 理事 林氏＋2名

⑧分科会事務局 2名

株式会社紀泉ふるさと創研：総合プロデューサー 榎本、プロデューサー 野口

活動報告⑦ 和歌山市から泉佐野市への各自治体をつなぐ「紀泉七夕まちぶら」実施

【実施概要】

○開催日時：令和4年6月21日～7月7日

○参加団体：

主催：和歌山まちなかシルクロード構想実行委員会／紀泉ふるさと創研

和歌山市：アロチ商店街、加太春日神社、北ぶらくり丁商店街、

和歌祭実行委員会

泉佐野市：SHARE BASEつむぎや、つむぎやAmenity

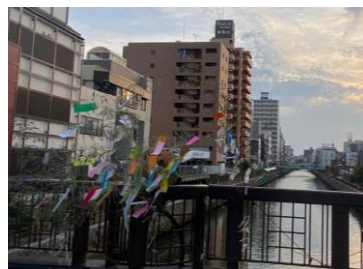
田尻町：田尻町観光協会

阪南市：サラダホール

○概要：

- ・紀泉ふるさと創研が各施設・団体に笹と短冊を配布
- ・関係各位が他地域とのつながりを意識するようオリエンテーション
- ・可能な地域は商店のなどのスタンプラリーと連動
- ・和歌山市紀三井寺でお焚き上げ

ワンテーマで和歌山市中心街のステイクホルダーをつなぐ和歌山まちなかシルクロード構想実行委員会の活動エリアを特別に広域化して、平和を祈る七夕をテーマに和歌山市の各商店街および泉州の主要拠点に笹と短冊を配布し、地域の商店街振興と連動したキャンペーンを実施。



活動報告⑧ 和歌山市SDGSロード宣言 第2弾 おもてなし大掃除

【実施概要】

○開催日時：

北ぶらくり丁商店街：8月2日（火曜） 7:30～

アロチ商店街：8月8日（月曜） 17:00～

○参加団体：

主催：和歌山まちなかシルクロード`構想実行委員会

アロチ商店街、北ぶらくり丁商店街

協力：アロチサポーターズクラブ

○概要：

大阪関西万博開催1000日前を記念して、街をきれいにしてお客様をおもてなしする「おもてなし大掃除」を実施。掃除を通じて地域のステイクホルダーの心をつなげることが本来の目的。

アロチ商店街の一部の店では、夕方5時半からお得な特別サービスも実施。

和歌山市SDGsロード宣言第2弾

おもてなし大掃除 @アロチ商店街

アロチの街が夕暮れおもてなし大掃除をします！

きれいなアロチの街で、お待ちしております！

アロチ商店街では、万博開催1000日前を記念して、街をきれいにしてお客様をお迎えする「夕暮れおもてなし大掃除」を実施することになりました。アロチの店が一斉に街をきれいにしてお客様をおもてなしする大掃除をします。掃除終了の5時半以降は各店舗のお得なサービスをお楽しみください。

日時と掃除の場所

日時：令和4年8月8日（月）

掃除：午後5時～午後5時半

場所：アロチ商店街

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止する場合があります。

※中止の場合、延期はありません。



写真：アロチ商店街 ゴミゼロ清掃活動の様子

主催：アロチ商店街/和歌山まちなかシルクロード`構想実行委員会

和歌山市SDGsロード宣言第2弾 万博1000日前記念掃除イベント

北ぶらくり丁そうじと打ち水でおもてなし

北ぶらでは、万博開催1000日前を記念して、商店街をきれいにしはじめ食堂にいらしたお客様をお迎えする「おもてなし大掃除と打ち水」を和歌山まちなかシルクロード実行委員会と実施することになりました。商店街の周辺をきれいにし、お客様をおもてなしする大掃除をします。掃除終了以降は、北ぶらのはじめ食堂をお楽しみください。

日時と掃除の場所
日時：令和4年8月2日（火）7時半
場所：北ぶらくり丁
※新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止する場合があります。
※中止の場合、延期はありません。



主催：北ぶらくり丁商店街協同組合/和歌山まちなかシルクロード`構想実行委員会

